

さつま土地改良区

12月発足へ調印式

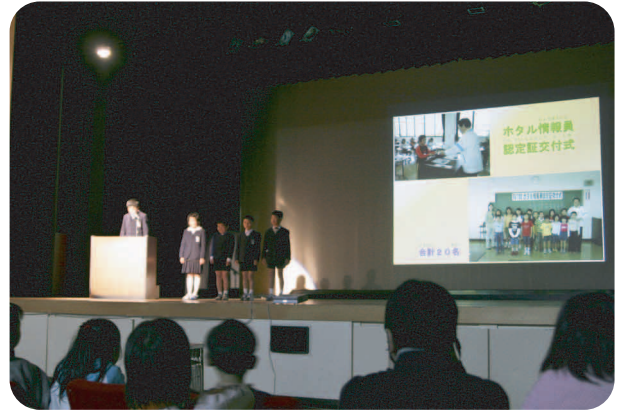
2月10日、旧町単位（宮之城・鶴田・薩摩）であった土地改良区の合併予備契約書調印式が県土改連川薩事務所で行われました。

調印式には3土地改良区の理事長をはじめ、町長、川薩耕地事務所の久保所長らが出席し、合併予備契約書に署名、捺印しました。

3土地改良区は平成18年12月20日を目標に、組合員4,416人、総代59人、役員21人、監事3人の「さつま土地改良区」となる予定です。



署名、捺印する関係者



ホテル情報員の体験発表

たけのこの集い

2月4日、「第4回すくすくたけのこの集い」が鶴田中央公民館で開催されました。

このイベントは、鶴田小学校区青少年健全育成推進協議会の主催で行われ、鶴田小学校器楽部のオープニング演奏の後、「私の意見・特技の発表」として、鶴田幼稚園・児童・同校出身の高校生や地元郷土芸能保存会による舞台発表と鹿児島市の「リトルチェリース玉江2005」によるジャズ演奏などが披露されました。

また、地元の農業団体や民生委員、高齢者、学校から出演者などの昼食として、おにぎりやそばの提供もありました。

郷土料理づくり

2月2日、中津川小学校で総合的な学習の時間に農業生産体験学習（食農教育）の一環として、郷土料理づくりが行われました。

5年生13人が、昨年11月に学習農園で収穫したもち米を使って、保護者や祖母といっしょに「ぼたもち」と「山菜おこわ」を作りました。

男子は外で釜の火をたき、女子はあんこを作ったり材料を切ったりし、保護者や祖母に作り方を習いながら一生懸命調理をしました。出来上がった料理は、一部試食した後それぞれ家庭に持ち帰り、家族へのお土産となりました。



一生懸命調理する児童



前列左端が榊さん、3番目が祝迫さん、5番目が下大迫さん、後列左から3番目が東さん

県地区対抗女子駅伝

1月29日、第19回鹿児島県地区対抗女子駅伝大会が霧島市隼人運動場を発売するコース（全6区間 21.0975キロ）で開催され、県内12地区の代表選手が健脚を競いました。

本町からも下大迫真未さん（樟南高3年）、榊なるみさん（樟南高2年）、祝迫さおりさん（樟南高3年）、東睦美さん（樟南高3年）の4名の選手が選ばれ、川薩チームの代表として活躍しました。

なお順位は、1位肝属、2位曾於、3位鹿児島で、川薩チームは8位でした。